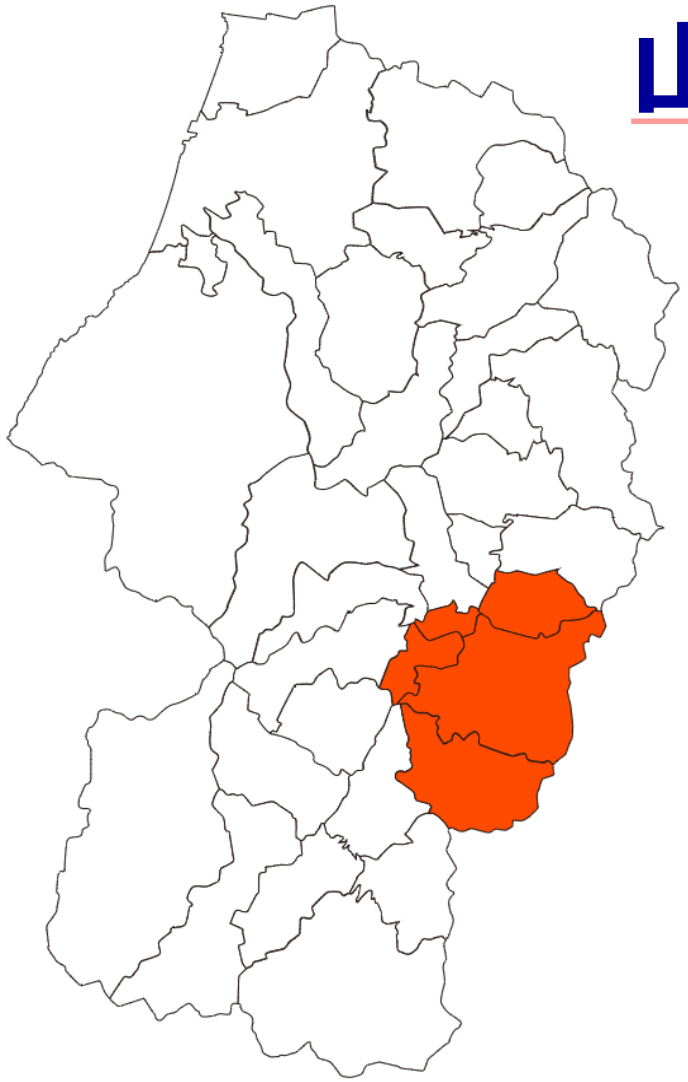
地域の明るい未来フォーラム　in　東南村山

資料１（別冊）



山形県の明るい未来に向けて

全国事例紹介（別冊）

- **参考事例**
  （2025(R7)国勢調査人口速報集計で人口減から人口増に転じた市町村の主な背景等と取組み）
- **島根県隠岐郡海士町**

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

令和８（2026）年11月19日（木）

参考事例（2025(R7)国勢調査人口速報集計で人口減から人口増に転じた市町村の主な背景等と取組み）

（単位：人）

No.	都道府県	市町村	2015(H27)人口	2020(R2)人口	2025(R7)人口	R7−R2増減	主な背景・特徴	主な取組み
1	北海道	オシャマンベチョウ 長万部町	5,926	5,109	5,310	201	・JR函館本線と室蘭本線が交わる「鉄道の要衝」 ・北海道新幹線の長万部駅設置計画が進捗中 ・移住者向に市民農園と住宅を賃貸するNPOがあり、移住者コミュニティが形成	・市が農地と住宅を左記NPOに貸与 ・東京圏からの移住支援金（世帯100万円、加算なし）
2	北海道	キョウワチョウ 共和町	6,224	5,772	5,989	217	・北海道電力泊原発構内防潮堤工事により作業員が流入 ・人気観光地ニセコエリアに隣接。ニセコ中心部の宿泊料・不動産価格の高騰により周辺町への居住拡大	・地域おこし協力隊を経て新規就農した場合、定住支援金（30万円）、起業等経費補助（上限100万円） ・住宅取得等補助金（新築・上限350万円）
3	北海道	ニキチョウ 仁木町	3,498	3,180	3,188	8	・果樹栽培に適した気候と立地に恵まれ、特にワインの町としてのブランド化を推進	・2017年、ワイン特区の認定を受け、ワイン製造免許の数量要件を緩和し、小規模農家でもワイン製造を可能へ ・ワインツーリズムによる観光客誘引→ファン獲得→ぶどう農家兼ワイン醸造家を目指す移住者の増加という流れを構築 ・東京圏からの移住支援金（世帯100万円＋18歳未満加算30万円/人） ・ハウス新設補助金（上限1/2）
4	北海道	ナンポロチョウ 南幌町	7,927	7,319	7,890	571	・札幌市中心部、江別市、北広島市まで車で約45分圏内のベッドタウン ・札幌市の不動産価格高騰により、郊外の住宅ニーズが上昇	・売れ残った住宅団地を半額で購入可能へ ・子育て世代の住宅補助（新築・上限200万円） ・中学までの子どもがいる家庭に年間10kg/人の米を配布 ・室内遊戯施設「はれっぱ」を開業
5	青森県	ロッカショムラ 六ヶ所村	10,536	10,367	10,603	236	・原子燃料サイクル施設をはじめとしたエネルギー関連施設が集積	・東京圏からの移住支援金（世帯100万円＋18歳未満加算30万円/人） ・移住体験（２泊３日程度、宿泊費無料、交通費支給（上限10,500円））、テレワーク体験、特産品販売体験、野菜収穫体験、そば打ち体験、エネルギーパーク見学など、豊富な体験活動を実施 ・無料の家具家電付き宿泊施設あり
6	埼玉県	ツルガシマシ 鶴ヶ島市	70,255	70,117	70,693	576	・東武東上線の若葉駅・鶴ヶ島駅から池袋まで最短約40分 ・車では関越自動車道と圏央道が交わる「鶴ヶ島JCT」があり、都心へのアクセスが良いベッドタウン	・親・子・孫の3世代の「同居」や「近居（市内の別居）」を目的とした住宅取得費等補助金（補助率1/2、上限100万円） ・空き家や狭小地解消のための自宅敷地拡張費補助金（補助率1/2、上限100万円）
7	千葉県	アビコシ 我孫子市	131,606	130,510	131,157	647	・利根川と手賀沼に囲まれた自然豊かなベッドタウン ・都心まで常磐線（上野東京ライン）で約30～40分 ・他の都心まで電車で1時間圏内の土地価格の坪単価が29.7～124.9万円のところ14.7万円と安価	・39年連続保育園待機児童ゼロに加え、全13市立小学校に学童保育が設置されており、小学生の待機児童もゼロ

出典：総務省「国勢調査」、県みらい企画創造部調

参考事例（2025(R7)国勢調査人口速報集計で人口減から人口増に転じた市町村の主な背景等と取組み）

（単位：人）

No.	都道府県	市町村	2015(H27)人口	2020(R2)人口	2025(R7)人口	R7−R2増減	主な背景・特徴	主な取組み
8	東京都	フッサシ 福生市	58,395	56,414	57,166	752	・JR青梅線・五日市線・八高線・西武拝島線の４路線があり、都心から約40km（電車で１時間圏内） ・市域の約3分の1が米軍横田基地であり、日本とアメリカの文化が融合した独特の文化を形成	・「子育てするなら、ふっさ」を掲げ、子育て支援を強力にPR（「共働き子育てしやすい街ランキング2025」で全国２位） ・中学生以下の子どもと同居する世帯が、長期優良住宅に認定された住宅を取得した場合、最長５年間、固定資産税相当額を助成（上限10万円）
9	東京都	ヒガシクルメシ 東久留米市	116,632	115,271	115,428	157	・西武池袋線「東久留米駅」から池袋駅まで乗換なしで約20分のベッドタウン ・「ひばりが丘団地」「東久留米団地」「滝山団地」など団地が集積しており、2018年ひばりが丘団地の再開発完了など、団地再生事業が進捗 ・都心の近くながら環境省「平成の名水百選」に選定された川があり、水環境をはじめ自然が豊か	・妊娠期のご家庭が抱える不安を軽減し、安心して出産・子育てができる環境づくりを支援することを目的に、現金またはクーポンを最大２回（５万円/回）支給
10	石川県	ツバタマチ 津幡町	36,968	36,957	37,264	307	・金沢市まで鉄道（IRいしかわ鉄道）で約10分、車でも約20分 ・金沢市近郊の市町の土地価格の㎡単価が4.5～10万円のところ、2.9～4.7万円と安価	・住宅取得等奨励金（新築・上限105万円） ・空き家バンク利用奨励金（夫婦・上限50万円） ・対象となる農山村集落に住宅を新築・購入した方に、奨励金を支給（最大40万円） ・東京圏からの移住支援金（世帯100万円＋18歳未満加算100万円/人）
11	山梨県	ヤマナカコムラ 山中湖村	5,208	5,179	5,216	37	・富士五湖の中で最も富士山に近く、面積が広い湖「山中湖」を中心とする高原リゾート地 ・村の総面積の約95%が富士・箱根・伊豆国立公園に指定されており、自然豊か	・東京圏からの移住支援金（40歳未満・世帯100万円＋18歳未満加算100万円/人） ・定住化促進のための新築等補助金（40歳以下・有配偶者又は18歳未満の子を養育する一人親・定額50万円）
12	長野県	ミナミマキムラ 南牧村	3,408	3,242	3,342	100	・標高1,000～1,500mの冷涼な気候を生かしたレタス・白菜など高原野菜の一大産地 ・人口の10%以上を外国人（フィリピン・インドネシア等）が占め、そのほとんどが農業に従事（技能実習・特定技能）	・フィリピンのラ・トリニダッド町との農業研修生受け入れ事業を2008年から継続。2014年に同町と姉妹（友好）提携を締結 ・実習生は受入農家を「おとうさん」「おかあさん」と呼び、受入農家は実習生を「うちの子」と呼ぶ文化が定着（外国人の心理的安全性の確立） ・さらに同国のブギアス町とツブライ町から提携の要望があり、2025年提携を締結
13	岐阜県	キタガタチョウ 北方町	18,169	18,139	18,239	100	・岐阜市まで20分、大垣市まで30分、名古屋市まで60分のベッドタウン ・「いい部屋ネット　街のすみごこちランキング2025＜岐阜県版＞」で1位を獲得（６年連続）	・東京圏からの移住支援金（世帯100万円＋18歳未満加算30万円/人） ・町内の２幼保園、３小学校、１中学校を全廃し、１園・２義務教育学校を2023(R5)年４月に開校。幼保小中一貫15年間教育をスタート

出典：総務省「国勢調査」、県みらい企画創造部調

参考事例（2025(R7)国勢調査人口速報集計で人口減から人口増に転じた市町村の主な背景等と取組み）

（単位：人）

No.	都道府県	市町村	2015(H27)人口	2020(R2)人口	2025(R7)人口	R7-R2増減	主な背景・特徴	主な取組み
14	岐阜県	サカホギチョウ 坂祝町	8,202	8,071	8,114	43	・名古屋圏へ電車で約50分 ・日本のライン川と呼ばれる「木曽川」が流れ、自然豊か	・東京圏からの移住支援金（世帯100万円＋18歳未満加算30万円/人）
15	愛知県	タカハマシ 高浜市	46,236	46,106	48,122	2,016	・高浜市を含む衣浦東部地域（碧南市・刈谷市・安城市・知立市＋高浜市）は、自動車部品等の大工場が集積 ・隣接する刈谷市の土地価格の㎡単価が15.12万円のところ、10.29万円と安価	・東京圏からの移住支援金（世帯100万円、加算なし）
16	愛知県	あま市	86,898	86,126	86,552	426	・名古屋市に隣接し、名鉄津島線で名古屋駅まで最短約15分のベッドタウン	・東京圏からの移住支援金（世帯100万円、18歳未満加算100万円/人）
17	大阪府	イズミサノシ 泉佐野市	100,966	100,131	100,329	198	・関西国際空港の対岸に位置する「世界の玄関口」 ・関西でも有数のレジャースポット「りんくうタウン」が所在 ・大阪で唯一の温泉郷「犬鳴山温泉」があり、山間エリアは自然が豊か ・ふるさと納税3.0として新たな地場産品の企画を公募。牛ハラミやクラフトビール等の魅力的な返礼品開発により全国トップを争うふるさと納税額（R7年度：230億円、全国1位）	・泉佐野市移住・定住促進戦略（R8～R12）を策定 ・近畿2府4県外からの移住支援金（世帯20万円＋加算10万円/人を5年間支給） ・新築住宅や中古住宅購入者に25万円分の地域ポイントを付与 ・子育て世帯等の空き家購入費補助（補助率1/2、上限200万円） ・市外から転入した単身世帯の水道料金を2年間減免
18	大阪府	カタノシ 交野市	76,435	75,033	75,573	540	・大阪・京都・奈良のほぼ中心に位置するベッドタウン（大阪市内まで電車で約30分） ・国内最大級の吊り橋がある「ほしだ園地」など、自然が豊か ・15歳未満と30～40代の子育て世帯の転入が増加	・大阪府内初となる、小学校低学年（1、2年生）における30人以下学級を実施 ・保育園で使用済み紙おむつの保護者持ち帰りを廃止（園で回収） ・市内に移住して中古住宅を取得した場合に補助金を交付（最大85万円＋中学生以下の子ども加算5万円/人）
19	島根県	アマチョウ 海士町	2,353	2,267	2,347	80	・島根半島の沖合約60kmに浮かぶ隠岐諸島の中の一つ、「中ノ島（なかのしま）」の自治体の名前 ・町のスローガンである「ないものはない（何でもある必要はない）」を掲げ、地方創生に取り組む	・「未来を創る島留学」と題し、新入生の5割を島外から集める高校魅力化プロジェクトを実施 ・「大人の島留学」と題した就労型移住体験制度を実施（3ヵ月から1年、観光業、畜産業などに従事しながらシェアハウスで生活） ・海士町内限定の人材派遣会社（国認定）を創設し、複業（副業）によって雇用を創出する仕組みを構築

出典：総務省「国勢調査」、県みらい企画創造部調

参考事例（2025(R7)国勢調査人口速報集計で人口減から人口増に転じた市町村の主な背景等と取組み）

（単位：人）

No.	都道府県	市町村	2015(H27)人口	2020(R2)人口	2025(R7)人口	R7-R2増減	主な背景・特徴	主な取組み
20	佐賀県	キヤマチョウ 基山町	17,501	17,250	17,284	34	・20～30km圏内に福岡市、佐賀市、久留米市があり、JR博多駅まで最速22分のベッドタウン	・空き家をリノベーションした移住体験住宅を町内に2棟整備 ・町内外の子育て・若者世帯が対象で、基山町内に住宅を購入する場合、住宅取得を補助（最大80万円） ・東京圏からの移住支援金（世帯100万円＋18歳未満加算100万円/人） ・東京圏以外からの移住支援金（世帯100万円・佐賀県独自）
21	熊本県	ニシハラムラ 西原村	6,802	6,426	6,852	426	・熊本市や「阿蘇くまもと空港」に隣接し、熊本市に車で約30分のベッドタウン ・阿蘇外輪山に面した広大な草原と山林が広がり、自然が豊か ・隣町の菊陽町に台湾積体電路製造（TSMC）が進出し、民間による大規模（400～500世帯）な宅地開発計画が進行中	・TSMCの菊陽町進出に伴う関連企業の受け皿として「第二鳥子工業団地」を整備 ・対象地区に一戸建てを新築、または新築建売住宅を購入して転入した子育て世帯に100万円を交付
22	熊本県	ミフネマチ 御船町	17,237	16,303	16,574	271	・熊本市に隣接し、3つのインターチェンジがあり、熊本駅や阿蘇くまもと空港まで車で約30分のベッドタウン ・都会に近くて、ほどよい自然がある「ちょうどいい田舎」 ・2021年4月、コストコが開業 ・菊陽町へのTSMCの進出による経済波及効果が期待される	・2022年1月、「御船町半導体関連企業誘致推進本部」を庁内に設置し、TSMC進出に伴うサプライチェーン企業（部品や物流など）の戦略的な誘致 ・中国語、英語の企業誘致プロモーション動画を作成 ・企業立地補助金（用地取得：上限1億円、施設整備：上限1,000万円、雇用奨励金：30万円/人（上限600万円）） ・東京圏からの移住支援金（世帯100万円＋18歳未満加算100万円/人） ・Uターンかつ中山間部への移住支援金（世帯100万円＋18歳未満加算100万円/人）
23	熊本県	マシキマチ 益城町	33,611	32,510	33,542	1,032	・2016年熊本地震で一時約1,600人減少したが、復旧・復興事業による住宅再建が進み、地震前水準にまでV字回復 :・阿蘇くまもと空港が所在し、インターチェンジが2か所あり、熊本市内まで車で約30分 ・菊陽町へのTSMC進出による経済波及効果が期待される	・空き地や仮設住宅跡地を活用した積極的な宅地開発を実施 ・町が指定する周辺エリアにおいて、中学生以下の子ども（妊娠中含む）がいる世帯が注文住宅の新築や建売住宅を購入して移住・転居した場合、100万円の補助金を交付 ・東京圏からの移住支援金（世帯100万円＋18歳未満加算100万円/人）

出典：総務省「国勢調査」、県みらい企画創造部調

参考事例（2025(R7)国勢調査人口速報集計で人口減から人口増に転じた市町村の主な背景等と取組み）

（単位：人）

No.	都道府県	市町村	2015(H27)人口	2020(R2)人口	2025(R7)人口	R7-R2増減	主な背景・特徴	主な取組み
24	沖縄県	キンチョウ 金武町	11,232	10,806	11,152	346	・沖縄本島のほぼ中央部東海岸に位置する町で、面積の約6割を米軍基地（キャンプ・ハンセン）が占める ・「子供は地域の宝」を掲げ、2018～2022年の合計特殊出生率が2.11と全国5位	・ギンバル訓練場跡地に県と共同でバーベキューやマリンレジャーを楽しめる海浜公園を整備し、ホテル等を誘致
25	沖縄県	チャタンチョウ 北谷町	28,308	28,201	28,436	235	・那覇空港から車で約45分の本島中部に位置するリゾートタウン ・面積の約5割を米軍基地が占める	・米軍基地変換跡地について、土地区画整理事業により計画的に市街地を整備
26	沖縄県	タケトミチョウ 竹富町	3,998	3,942	3,963	21	・八重山諸島の9つの有人島と7つの無人島で構成される日本最南端の町 ・豊かな自然環境を活かした観光業が最大の基幹産業	・町・民間のコンテナ事業者・公民館が3者協定を締結し、町有地に民間事業者がコンテナ住宅を設置、公民館が管理する住宅供給事業を実施 ・小4～中3を対象に、鳩間島留学を実施（寮監が配置された寮を整備） ・石垣島と各島を結ぶ定期船の運賃の離島住民割引を実施

（参考）全国から注目を集める市町の主な背景等と取組み

（単位：人）

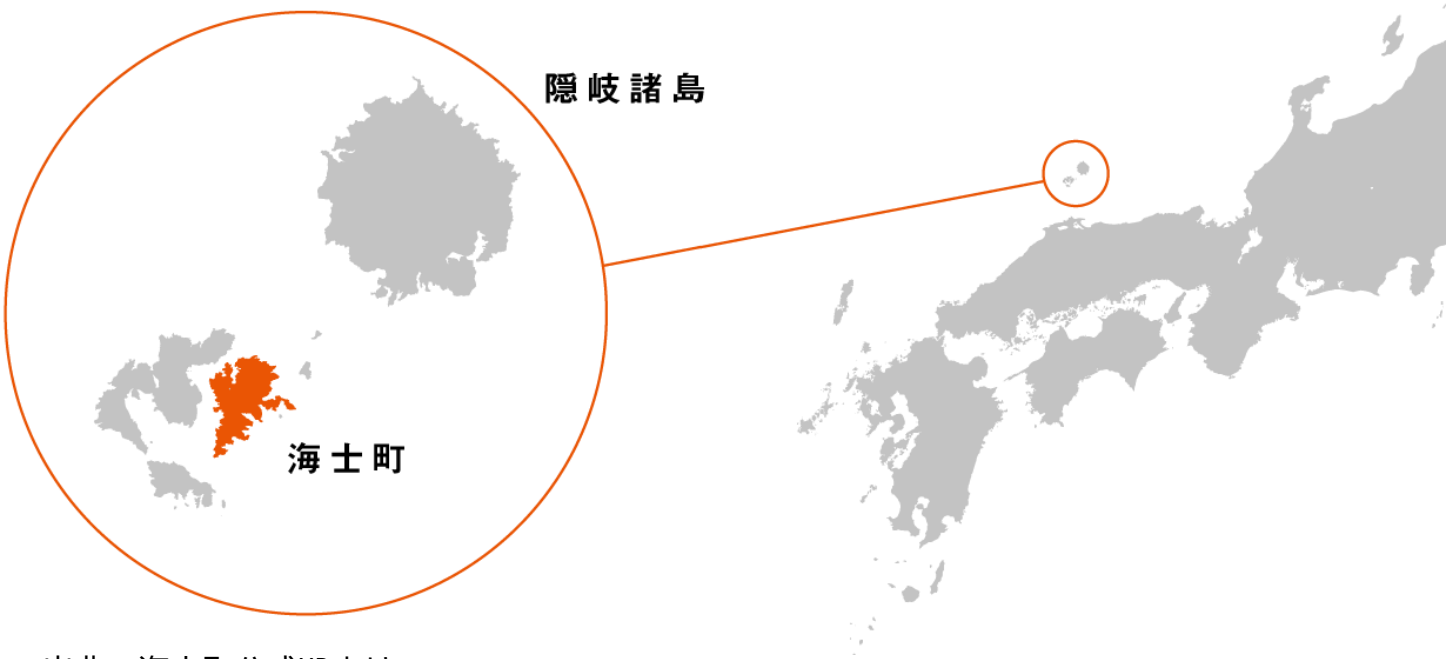
No.	都道府県	市町村	2015(H27)人口	2020(R2)人口	2025(R7)人口	R7-R2増減	主な背景・特徴	主な取組み
1	北海道	シラヌカチョウ 白糠町	8,068	7,289	6,603	▲686	・釧路市中心部まで車で30～40分 ・漁業、農業、酪農が盛んで、北海道でも有数の食の宝庫 ・サーモン、いくら、白糠牛、チーズ等の豊富な食料品を返礼品として提供し、全国トップを争うふるさと納税額（R7年度：223億円、全国2位）	・東京圏からの移住支援給付金（単身60万円、世帯100万円、18歳未満加算30万円/人） ・10年以上居住予定者が住居を新築する際に、町有地を無償提供。新築住宅の固定資産税を減免 ・1年以上居住予定の新婚世帯に対し、住宅費用や引越し費用を支援（最大60万円）
2	宮崎県	ミヤコノジョウシ 都城市	165,029	160,640	159,699	▲941	・宮崎市（約50km）と鹿児島市（約90km）の中間に位置する南九州の拠点 ・都城盆地を活用した農業が盛んで、特に畜産業は全国トップクラスの産出額 ・ブランド肉や本格焼酎を返礼品として提供し、全国トップを争うふるさと納税額（R7年度：216億円、全国3位）	・東京圏以外からの移住者にも移住応援給付金を支給（単身60万円、世帯100万円、18歳未満加算100万円/人（最大300万円））、中山間地域加算（20万円/人、最大100万円） ・三大都市圏等に在住し、かつ、三大都市圏等の事業所へ通勤していた29歳以下の“転入者（5年以上居住予定）”を対象とした都城市若者応援給付金（30万円）

出典：総務省「国勢調査」、県みらい企画創造部調

島根県隠岐郡海士町とは

- 海士町（あまちょう）は、島根半島の沖合約60kmに浮かぶ隠岐諸島の中の一つ、「中ノ島（なかのしま）」の自治体名で、人口は約2,200人。離島にもかかわらず米作りが盛んで、豊かな海と組み合わせた半農半漁の営みで暮らしを支えている。

- 2011年（平成23年）から「ないものはない」いうキャッチコピーを使用し、「ないからこそ良い」という価値観を大事にしながら、「あるもの」を活かす知恵と工夫で暮らしを楽しもうとする島らしい生き方や魅力をＰＲしている。

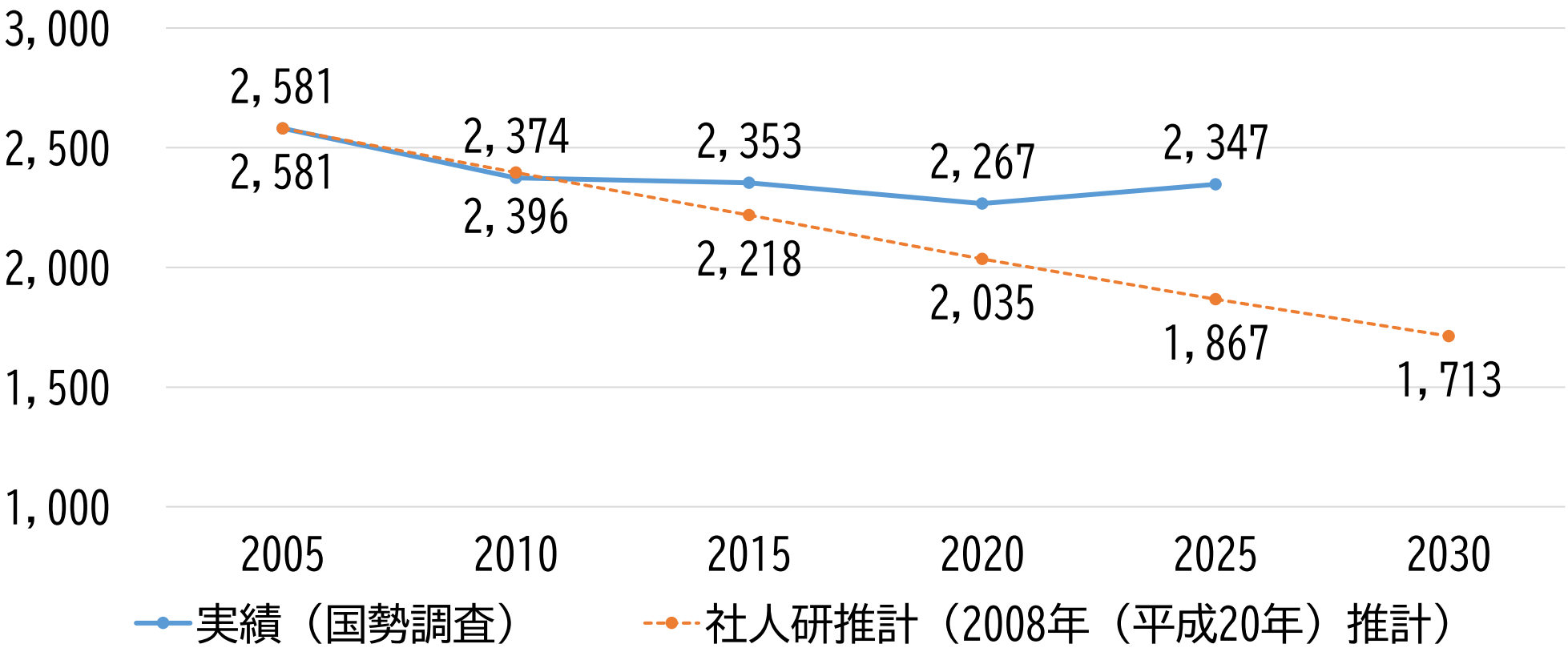


出典：海士町公式HPより

島根県隠岐郡海士町の人口推移・推計

○　海士町の人口推移と国立社会保障・人口問題研究所の「地域別将来推計人口（平成20年12月推計）」の推計を比較すると、推計を上回る人口を維持している。

（単位：人）

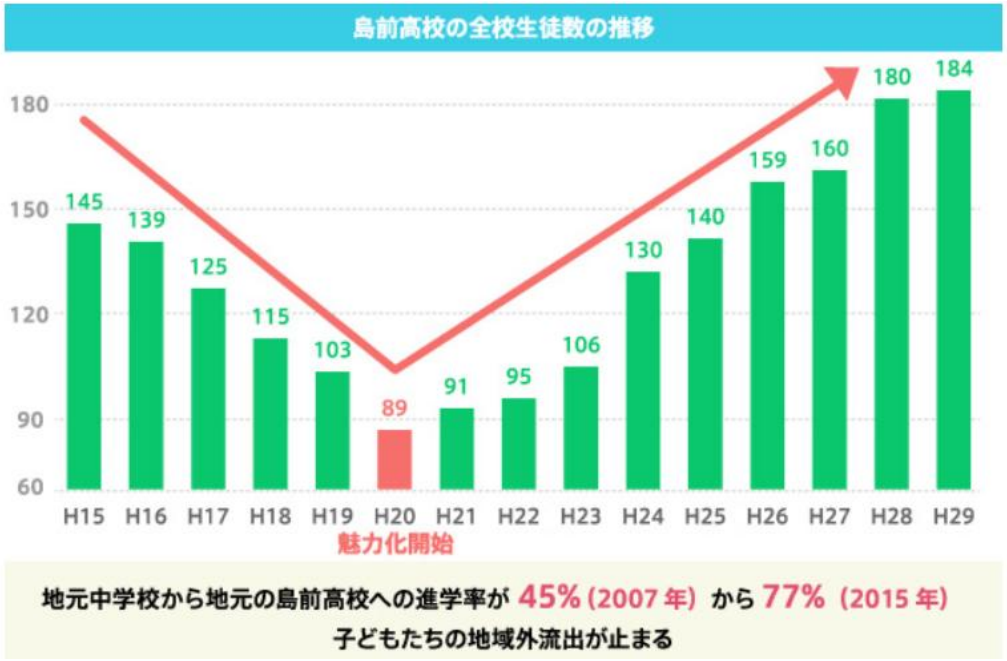


出典：実績は2020年までは総務省「国勢調査」、
社人研推計は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成20年12月推計）」

島根県隠岐郡海士町の特徴的な取組み①

島根県立隠岐島前（どうぜん）高等学校の魅力化プロジェクト

- 島前地域（海士町・西ノ島町・知夫村）の人口減少により、島前高校の生徒数が激減
- 2008年（平成20年）、３町村と高校、そして地域住民が一体となり「島前高校魅力化プロジェクト」を始動
- 全国から生徒を募る「島留学」制度や島留学生に地元の「島親」がつき、家庭的な交流の場を提供するなど、**廃校寸前だった離島の高校を、地域と学校が一体となって再生**



主な成果

生徒数：
1学年30名を下回る　⇒　１学年２クラスへ倍増・維持

生徒の多様性：
地元の生徒 ⇒　約半数が島外からの「島留学生」

地域の活力：
若者の流出、高齢化の加速
⇒　移住者（Uターン・Iターン）の増加
教育を通じた関係人口の拡大

出典：一般財団法人島前ふるさと魅力化財団HPより

⇒　**現在、「地域みらい留学」という全国的な仕組みとなり約190校まで拡大**
（山形県内では、13校で県外生受入れを実施（令和９年度入学））

島根県隠岐郡海士町の特徴的な取組み②



大人の島留学

- **「大人の島留学」**は、2020年（令和２年）からスタートした海士町発制度で、３ヵ月から１年程度、全国各地の若者たちが島で暮らし、働くことができる
- 対象者は20歳～29歳程度の若者で、島の「職」にたずさわりながら、自身の役割を見出し、滞在中の仕事や地域の方との関係性づくりに主体的に参画

累計（令和２～７年度）…**715**名参加
令和７年度**234**名参加、**22**名島内就職



海士町オフィシャルアンバサダー

- **「海士町オフィシャルアンバサダー制度」**は、2024年（令和６年）からスタートした住む場所にとらわれず海士町を応援し、海士町の地域創りに関わることができる、年会費制（１万１千円～）のデジタルサービス
- アンバサダーには、公式LINEからの情報発信や、海士町への理解を深める来島ツアーといった企画を用意
- 町への関わり方や可能性を見つけてもらうための、ファンミーティングやアンバサダー同士が親睦を深めるためのイベントを設けている

約**550**名が登録済（令和８年10月時点）

出典：海士町関係人口ブランドサイトHPより

人と自然がいきいきと調和し、
真の豊かさと幸せを実感できる山形 を実現！



～ ご清聴ありがとうございました ～